

協議会委員参加者

角 朋子 (令和3年度PTA会長)・運営協議会会長
田中 恒子 (地域教育相談員)
山野 正広 (和泉市総務部人権・男女参画室長) 運営協議会副会長
西田 芳正 (大阪府立大学教授)

学校教職員参加者

大崎 弘司 (校長)
北出 眞理 (教頭)
津田 等 (事務長)
小川 敏和 (首席)

その他参加者

白木原 舜 (生徒指導部長)

- (1) 会長挨拶
- (2) 校長挨拶
- (3) 生徒状況報告 ①生徒指導部より 生徒指導上の取り組み (白木原教諭)
②進路指導部より 3年生の進路状況 (小川)
- (4) オープンスクール体験授業の見学
 - ・英語 (Halloween English)
 - ・理科 (迷路による学習曲線の作成)
 - ・保健体育 (キンボール)
 - ・情報 (タイピングと文書作成)
 - ・家庭 (児童文化財について)
- (5) その他
 - ・令和3年度使用教科書について
 - ・1人1台タブレットの状況
 - ・転退学者について
- (6) 令和3年度学校経営計画の進捗状況 (校長)
- (7) 本校の教育活動に関する意見交換
- (8) 校長謝辞

[主な報告、質問、意見等] ◇は報告内容、○は質問、→は答え、●は意見や感想

生徒指導関係

◇遅刻者数について1学期は落ち着いていたが、2学期になり増加傾向。今年度から指導のルールが変更になり、2ヶ月連続で指導にかかる、保護者に来てもらうことになったことで、幾ばくかの抑止力になっているのではないかと。最近ではフル電動自転車の普及が進んでいるが、ナンバープレートと免許が必要であり、通学には使ってはいけないため、特別指導の対象となる生徒もいる。

進路指導関係

○奨学金と高等教育の無償化について詳しく教えてほしい。

→奨学金は日本学生支援機構が定めた基準の家庭が申し込むことができる。高等教育の無償化については、①給付型に申し込んでいること、②進学したい学校が高等教育の無償化に手を挙げている、の2つがセットで条件になる。

○給付型奨学金をもらっている学生が中退した場合、返還しなければならないのか？

→日本学生支援機構のQ&Aによると、「やむを得ない理由がなく学業成績が著しく不振の場合などは、支給した金額の返還が必要になることがあります。」とあるので、返還の必要はあると思います。

○来年度からの複数応募の動きはどうなりそうか？

→現在、教育委員会が調整を続けている。和歌山県が今年度から一足早く導入しているが、企業側の複数応募受け付け体制は一定進んでいるが、実際に複数応募している就職生の数は県内すべてをまとめても数えるほどしかない。試験日程が重なり、調整に苦勞するなどの問題は出ている。

○複数応募した企業から全て内定をもらった場合、どうするのか？

→本人に確認をして手続きをする。現行、秋田県でも複数応募の仕組みはあるが、実績は減ってきている。

その他

◇1人1台タブレット端末を生徒に配付し、持ち帰らせた上で正しく動作するかを確認しています。

○通信環境の問題は出ているか？

→ある。校内で一斉に使用する回線が混んでログインできなくなっている。家での通信環境も含めて確認を進めています。

●通信制などの学校への転学について、力をつけられないまま卒業資格を持つことに強い懸念を関しています。

→中学校への説明会も行われるなど、昨年度よりも容認する傾向が出ている。楽であると考えられる生徒も増えていることや、南部地域にサポートセンターのようなものが次々とできていて、傾向はさらに強くなっている。私学にも動きが見られ、受検希望者獲得に向けて影響を及ぼしている。

●私学の無償化とはどの部分をさして言っているのか、見えにくい部分もある。高校に進学したら自分で楽しみを作って頑張ってもらいたいと思います。

校長より

◇キャリア教育を刷新しています。企業に来ていただいて、業界のことについて、会社のことについて、高卒で就職をした人が就職にあたって何を考えどんなことをしてきたのか、といったことについて講演をしていただいています。